

請願2件の委員長報告と採決をおこない12月定例会市議会が閉会しました 一般会計補正予算で16億3984万6千円を追加

12月定例会市議会は18日、本会議を開き、議会開会日に民生福祉常任委員会に付託された請願2件(「介護労働者の労働環境改善及び処遇改善の実現」を求める意見書提出を求める請願、安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交代制労働の改善を求める意見書提出を求める請願)の委員長報告と採決をおこない閉会しました。

12月定例会市議会に提案された一般会計補正予算は、16億3984万6千円で、市民体育館の改修工事の予算が10億720万9千円、武道場の建設のための基本設計と実施設計の予算4873万円、沼田南中、沼田東中、白沢中の各武道場の耐震化事業の予算に1億68万円が計上され、一般会計などの補正予算は12日の本会議で可決されました。

国保税の引き上げの中止を 国民健康保険の都道府県化でどうなる

大東議員は一般質問で、国民健康保険の都道府県化にともなう加入者への影響や国民健康保険税について質問しました。

加入者への影響について市長は、「制度の移行によって、加入者に手続き上の負担はないと考えている」と答え、国民健康保険税については、「保険税率は市町村が決める。前期高齢者交付金などの清算処理等の影響が後年度の納付金算定に影響するので、適正な運営に努めたい」と答えました。

大東議員は、県が公表した各市町村別の県への納付金の試算で沼田市は、平成28年度決算で100%を超えていなかったことから、来年4月から予定されている国保税の引き上げの中止を求めましたが市長は、「上げなければ不足が生じる」と答え、引き上げを中止しない考えを表明しました。

介護労働者と医療労働者の労働条件改善を求める請願2件は趣旨採択

「介護労働者の労働環境改善及び処遇改善の実現」を求める意見書提出を求める請願と安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交代制労働の改善を求める意見書提出を求める請願は、賃金水準の引き上げや介護職員の人員配置を利用者2人に対し1に引き上げること、医師・看護師・介護職員の夜勤勤務の労働環境の改善を求め、政府、関係各省に意見書の提出を求めるものです。

委員会審議では、「請願趣旨は理解できるが、障がい者施設などの職員の処遇改善も必要であり、全体の検討も必要」との意見があり、請願2件は趣旨採択なると本会議で委員長報告がされ、趣旨採択となりました。

市議会がぐんま緑の県民税継続要望へ

町村議会会長から、平成30年度終了が予定されている、ぐんま緑の県民税の継続を市議会議長会として県に継続の働きかけを求める要望が市議会議長会会長にあり、議会運営委員会で対応について協議されました。

大東議員は、ぐんま緑の県民税と同趣旨の森林環境税(仮称)を国が創設することから、継続する必要はないとのべ、他に2人の議員が継続は必要ないとの意見でしたが、4人の議員が継続を求めたことから、沼田市議会はぐんま緑の県民税継続を求めることになりました。

2017年12月24日

NO. 551

日本共産党 大東のぶゆき議員活動地域後援会ニュース

やまびこ

発行所 沼田市下久屋町983 Tel.23-1519 部内資料



「ミサイル防衛」強化とあわせると兆単位の費用が必要とされています。北朝鮮の核・ミサイル開発は決して許せませんが、国民生活圧迫の大軍拡を中止し、外交的手段で問題解決をすすめることが必要です。

こんにちは。安倍内閣は、取得費が2基で2千億円近くになる、陸上配備型迎撃システム「イース・アシオア」を北朝鮮の弾道ミサイル対処のため導入することを閣議決定しましたが、2004年度から整備がはじまった「ミサイル防衛」の予算は、18年度予算などを含め累計で2兆円に迫る勢いとなります。

安倍内閣は、「わが国を多層的に防衛し得る能力の向上を図る」としていますが、「イース・アシオア」を加えても、「百発百中で迎撃するのは技術的に不可能」という指摘が防衛省幹部からもすでに上がっています。(朝日新聞10月13日付)

防衛省は、18年度予算案に敵基地攻撃が可能な巡航ミサイルの導入費を要求し、今後の

こんにちは 大東のぶゆき です



続ぶらり散歩 めまた道 白沢町あれこれ 特別編その四

白沢用水

白沢用水は、沼田万鬼斎頭泰が蔵内城(沼田城)の築城にあたり開削した用水で、享禄3年(1530)4月に工事が開始されたといわれています。



工事奉行には、塩野井主水と長谷川主計が任じられ、塩野井主水は上古語父に住む久屋氏の一族だったとの説があり、工事の総監督的な役割を命じられていたようです。

白沢用水の取水口は高平松ヶ久保で、総延長は約15.5km。真田氏、土岐氏など歴代の城主は、高平に対し労役を免除するなどの特権を与え、この用水の維持管理、保護に力を注いできました。

平出の蚕影山宮

ぐんま絹遺産に登録されている平出の蚕影山宮は、安政7年(1860)に越後の石工によってつくられた石宮です。

お祭りは、4月におこなわれ各家から品物を出してもらい、それを景品として福引がおこなわれます。

